

## 1 基礎資料

### (1) 協働のまちづくりアンケート

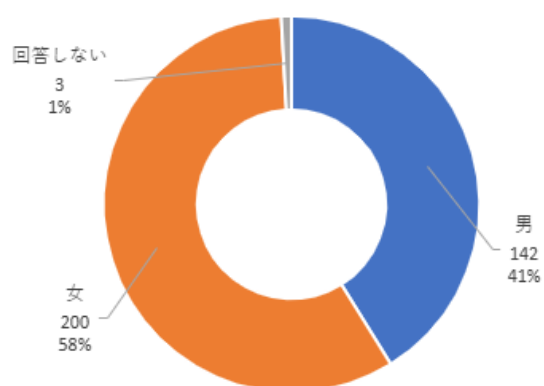
令和7年1月下旬から2月14日まで、15歳以上の市民の中から1,000人を無作為に抽出し、アンケート調査を実施しました。

本結果は、有効回答347件（有効回収率34.7%）の回答内容を集計したものです。

### 1 ご自身のことについて

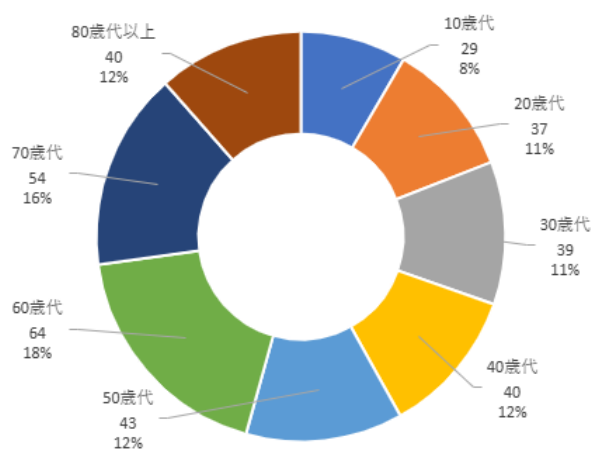
#### ①性別（回答者数：345人）

有効回答率は「男性」が41%、「女性」が58%と女性の方が多くなりました。



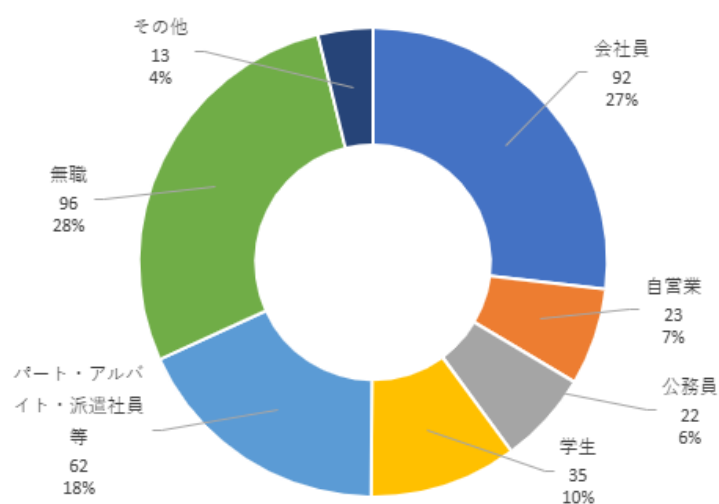
#### ②年代（回答者数：346人）

「60代」と「70代」の回答率が高く、「10代」は低い回答率となりました。全体的に若くなるにつれて回答率が下がる傾向があります。



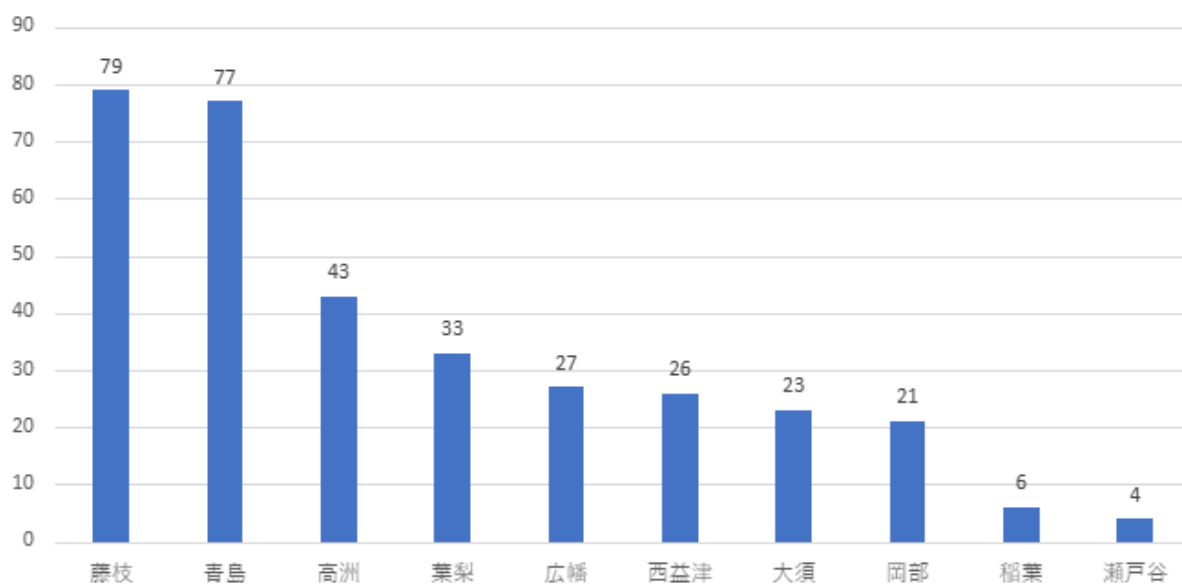
### ③職業（回答者数：343 人）

「無職」が 28%と最も高くなっていますが、これは 60 代以上の回答率が高いことが要因です。続いて、「会社員」「パート・アルバイト・派遣職員等」「学生」「自営業」「公務員」の順となりました。



### ④お住まいの地区（回答者数：339 人）

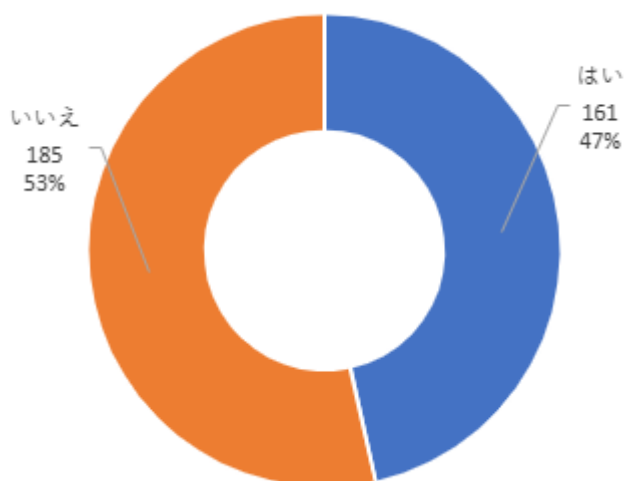
回答者数は「藤枝地区」と「青島地区」が多く、全体の 46%を占めています。一方で「瀬戸谷」や「稲葉」は回答者数が少なく、地域によって大きな差が見られました。



## 2 市民活動への参加について

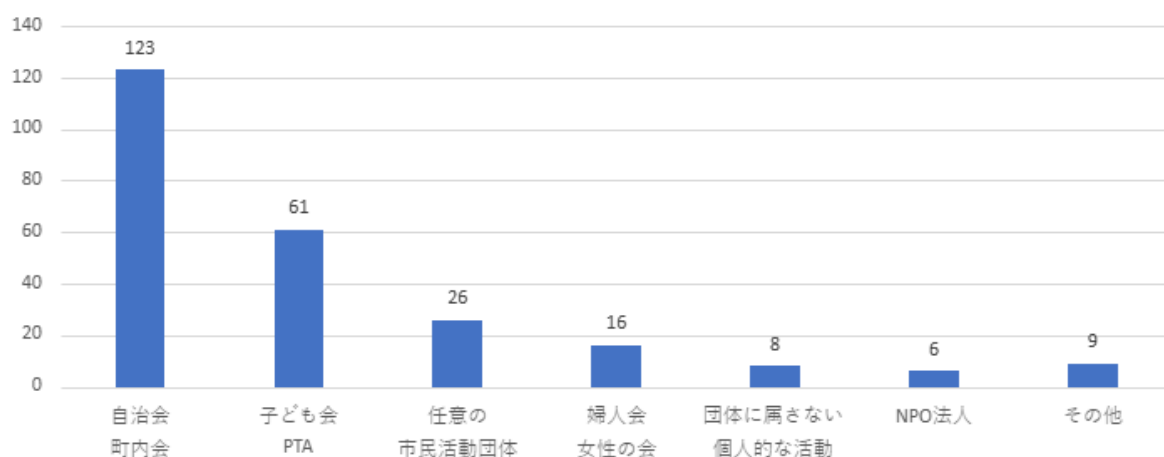
問1. あなたは、これまでに市民活動に参加したことがありますか。(回答者数：346 人)

有効回答率は「はい」が47%、「いいえ」が53%と、参加したことがない人の方が多くなりました。



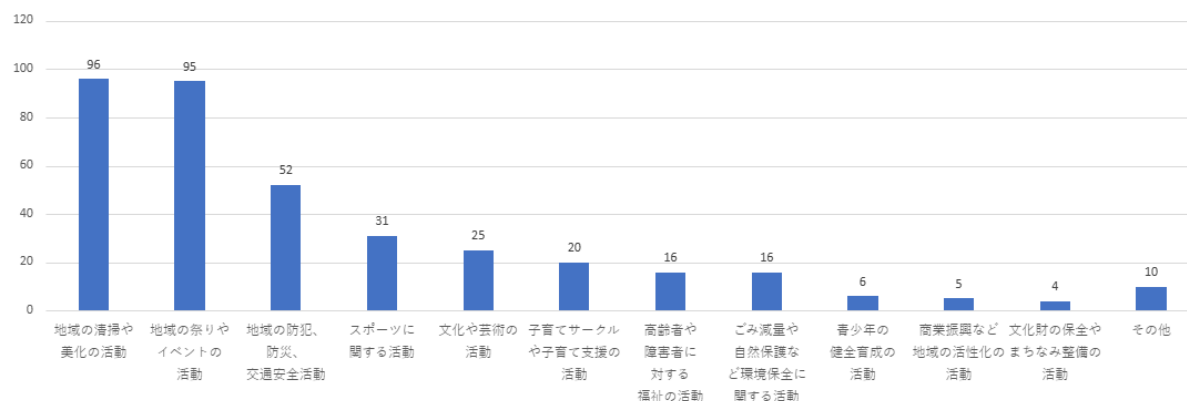
問2. 問1で「はい」と回答した方、どのような団体の活動に参加したことがありますか (回答者数：161 人／複数回答可)

これまでに市民活動に参加したことの多い方は、「自治会・町内会」や「子ども会・PTA」の活動であり、多くの方が地域の活動に参加していることが分かります。地域に密着した活動への参加が一般的であることが伺えます。



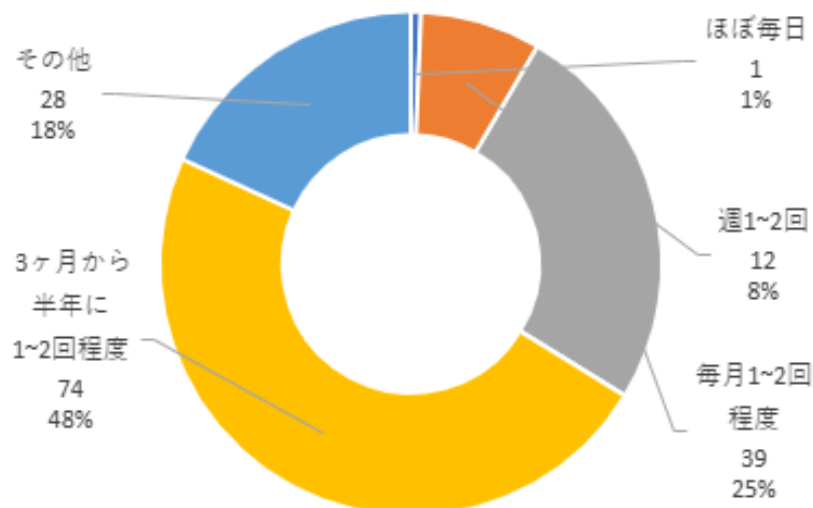
問 3. あなたが参加した活動は、どのような分野の活動ですか。(回答者数：160 人／複数回答可)

「地域の清掃・美化」「地域の祭り・イベント」「地域の防犯・防災・交通安全」の参加者が多く、地域貢献意識の高さが伺えます。しかし、「青少年の健全育成」「商業振興」「文化財の保全」の分野は、専門性が高く長期的な取り組みを要するためか、参加者が少ないことも分かります。



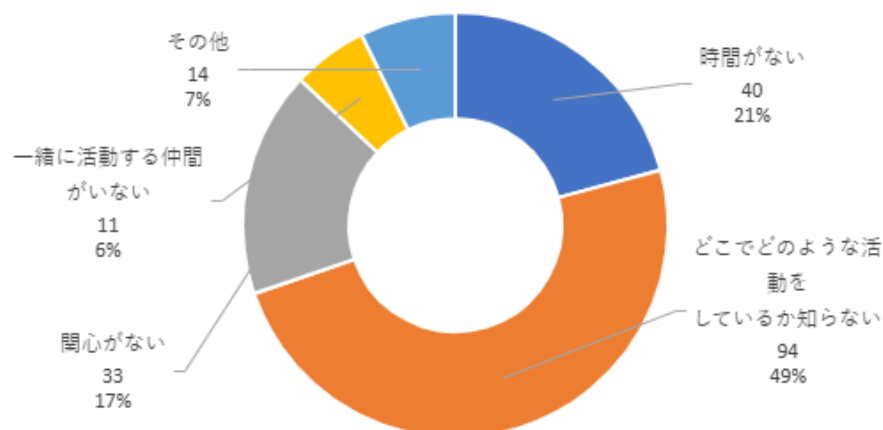
問 4. 市民活動にどれくらいの頻度で参加していますか。(回答者数：152 人)

48%の方が「3ヶ月から半年に1～2回程度」、25%の方が「毎月1～2回程度」となり、「ほぼ毎日」は1%です。この結果から、これまで市民活動に参加したことはあっても、その頻度は少ないことが分かります。



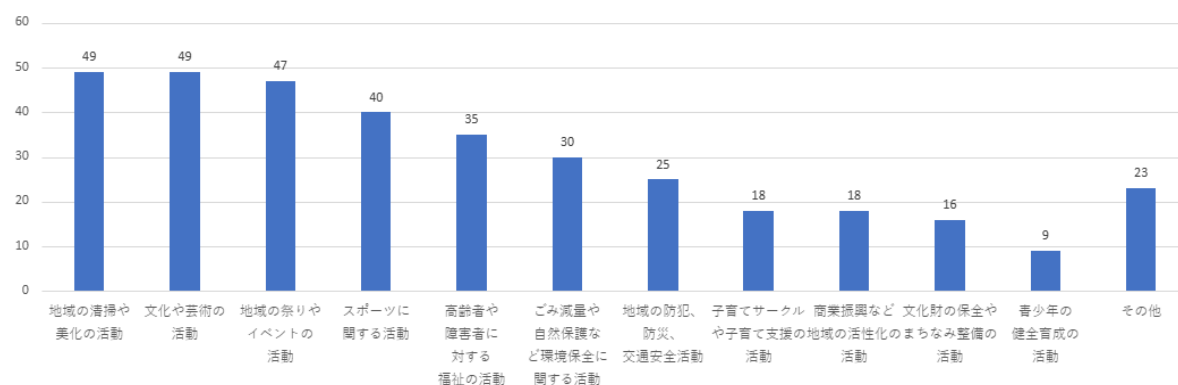
問 5. 参加したことがない理由は何ですか。(回答者数：189 人／複数回答可)

「活動を知らない」が 94 件で最も多く、市民への市民活動の情報提供をさらに充実させることで、活動に参加する方が増えると考えられます。



問 6. 今後、やってみたい活動はありますか。(回答者数：195 人／複数回答可)

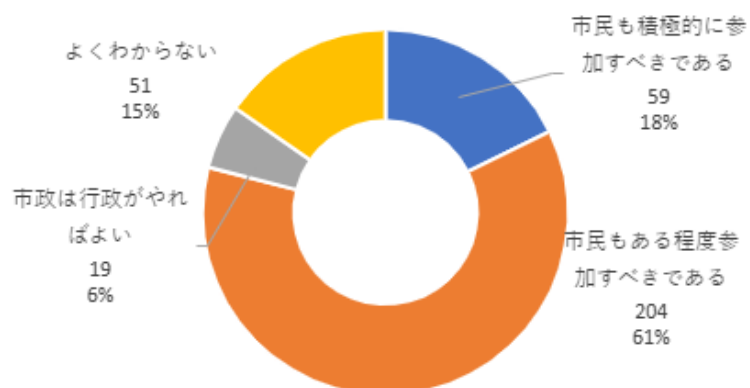
過去、市民活動に参加したことがない方が、どのような分野の活動に参加したいと考えているのかを調査したところ、「地域の清掃・美化」「文化・芸術等」「地域の祭り・イベント」の分野への関心が高い結果となりました。その他の項目では、意欲があっても身体的な理由などでできないという声が多く寄せられました。



### 3 市民参加について

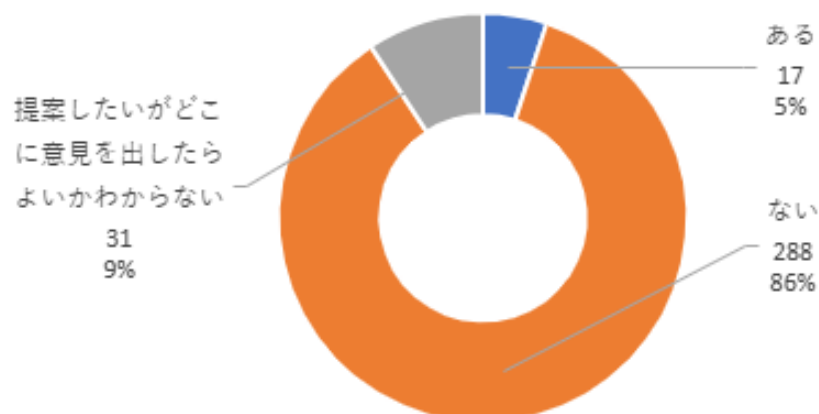
問 7. 市民が市政や行政サービスに参加する必要があると思いますか。(回答者数：333 人)

「積極的に参加すべき」と「ある程度参加すべき」を合わせると 79%と高く、「行政がやればよい」はわずか6%と市民の多くは市民参加の必要性を感じていることが伺えます。



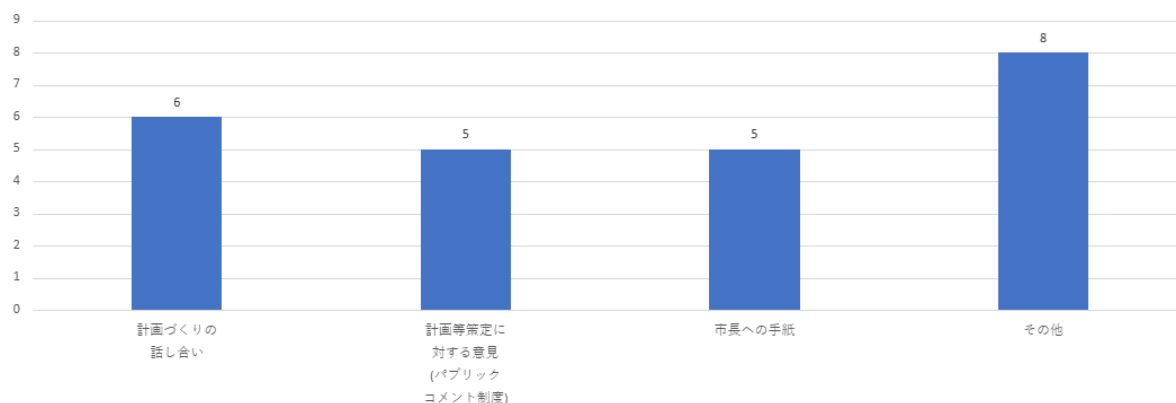
問 8. これまでに市の政策決定や計画づくりに、意見やアイデアを提案したことがありますか。(回答者数：334 人)

「提案したことがある」は 5%と低く、ほとんどの方が意見や提案をしたことがないという結果となりました。また、「提案したいがどこに意見を出したらよいかわからない」と回答した方が 9%もいることから、市民への情報提供のさらなる充実の必要性が伺えます。



問 9. 問 8 で「ある」と回答した方にお伺いします。どのような形で参加しましたか。(回答者数：18 人／複数回答可)

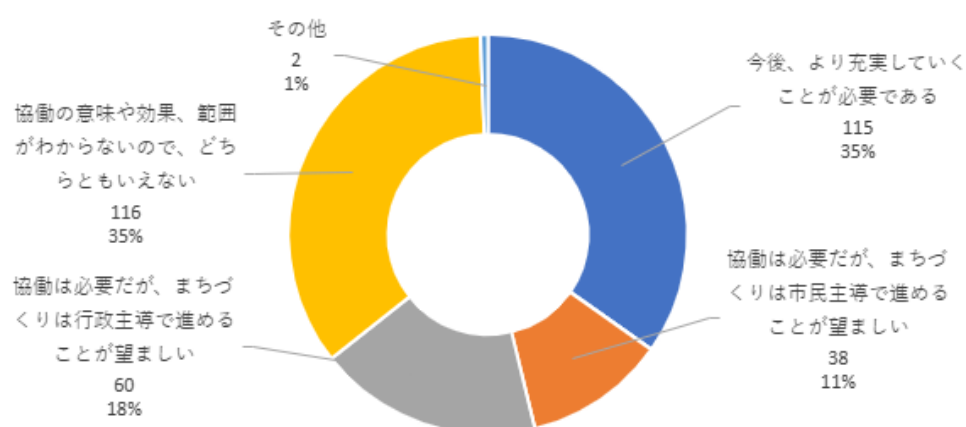
「市民協働について」と回答した方が最も多く、「計画づくりの話し合い」「計画等策定に対する意見(パブリックコメント制度)」「市長への手紙」と回答した方は同程度でした。



#### 4 市民協働について

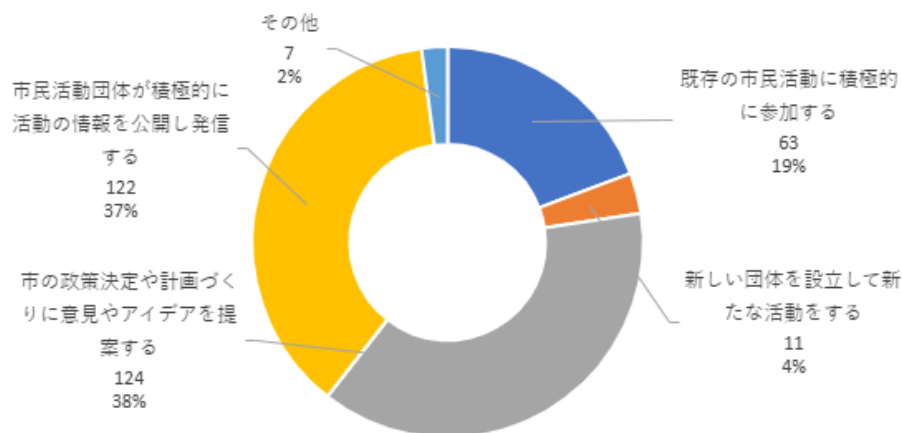
問 10. 藤枝市では、協働によるまちづくりを進めています。市民協働を推進する必要があると思いますか。(回答者数：329 人)

「今後、より充実すべき」と「協働は必要」を合わせると 64%と半数以上を占め、市民の多くが市民協働の必要性を感じています。また、「どちらとも言えない」と回答した方は 35%となりました。



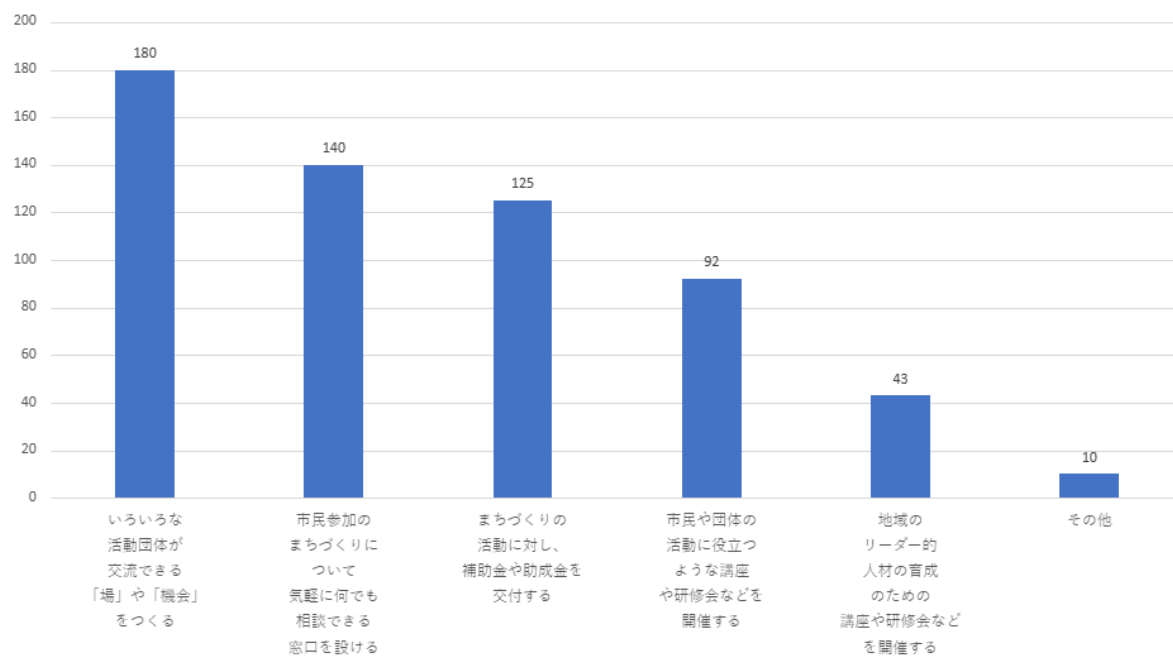
問 11. 市民協働によるまちづくりを進めるために、市民として何が必要だと思いますか。あなたに最も近いものを一つ選んでください。(回答者数：324 人)

「市民活動団体が積極的に活動の情報を公開し発信する」と「市の政策決定や計画づくりに意見やアイデアを提案する」といった意見が多く、「新しい団体を設立して新たな活動をする」は最も低い結果となりました。



問 12. 市民協働によるまちづくりを進めるために、行政として何が必要だと思いますか。(回答者数：325 人／複数回答可)

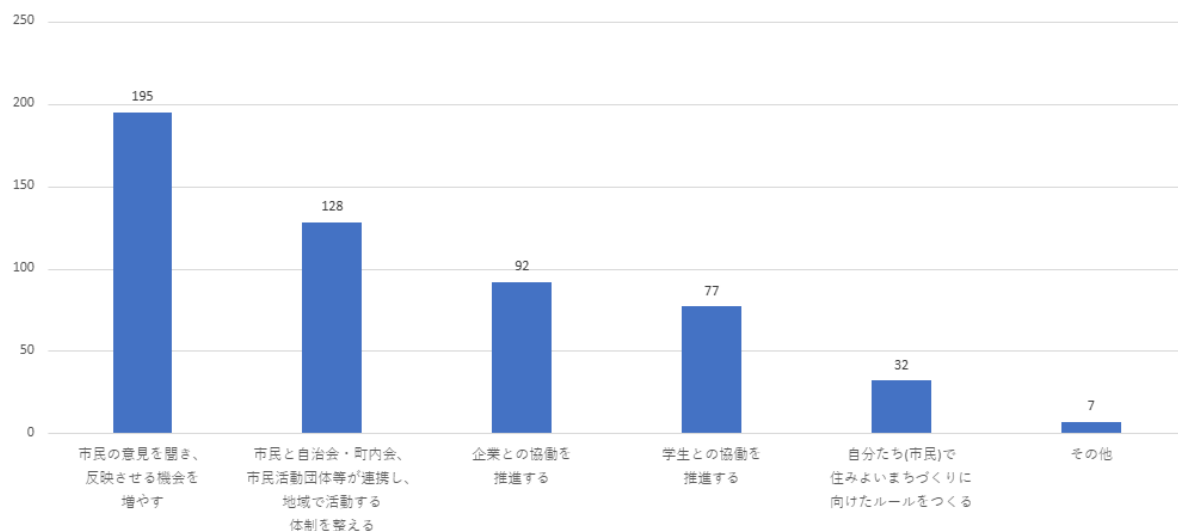
「いろいろな活動団体が交流できる「場」や「機会」をつくる」が最も多く、他の項目も含めて市民協働によるまちづくりに対して行政の支援を必要としていることが分かります。





問 13. 今後、より市民協働を進めるために何が必要だと思いますか。(回答者数：324 人／複数回答可)

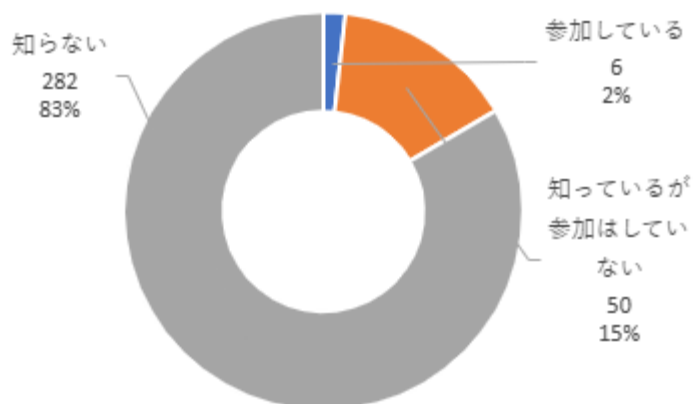
「市民の意見を聞き、反映させる機会を増やす」「市民と自治会・町内会、市民活動団体が連携し、地域で活動する体制を整える」と答えた方が多く、他の項目も含め、様々な形態による協働が求められていることが伺えます。



## 5 藤枝市の取り組みについて

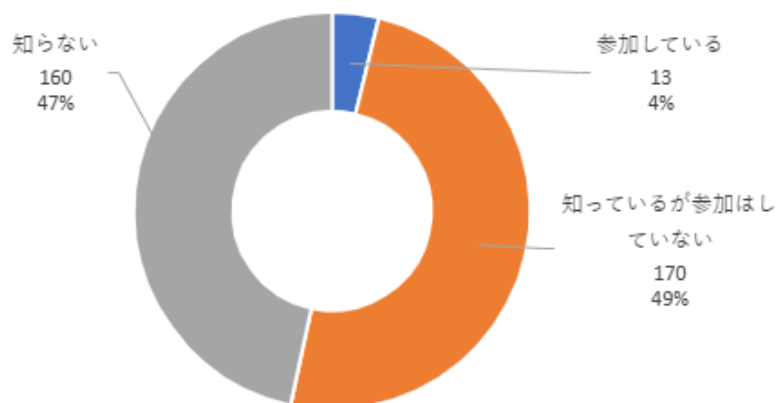
問 14. 藤枝市が実施している「藤枝ボランティア事業(Fボラ)」をご存知ですか。(回答者数：338 人)

「藤枝ボランティア事業(Fボラ)」を知らない人が 83%を占めるため、市民への情報提供のさらなる充実に努める必要があります。



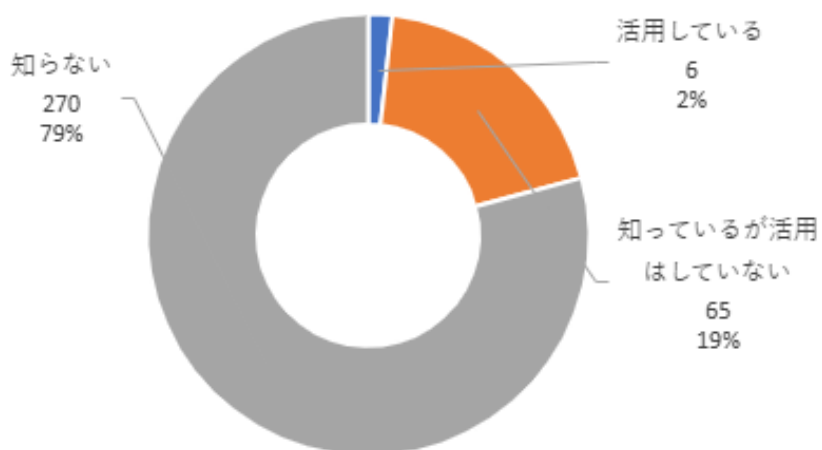
問 15. 道路や公園などの公共の場に花を植えたり清掃などの美化活動を行う「まち美化里親制度」をご存知ですか。(回答者数：343 人)

「まち美化里親制度」の認知度は 53%となり、「藤枝ボランティア事業」と比べると非常に高い比率となっています。



問 16. 市民活動の活性化と地域コミュニティの拠点施設としての「ふじえだ市民活動支援センター（文化センター2階）」をご存知ですか。(回答者数：341 人)

市民活動支援センターは平成 14 年 12 月に開設していますが、「活用している」が 2%、「知っている」が 19%と認知度が低いことから、市民への情報提供のさらなる充実に努める必要があります。



問 17. 本市における市民と行政の協働のまちづくりのあり方について、ご意見・ご提言がありましたらご記入ください。

- ・自治会や町内会でどこも同じようにするのは難しいことと思う。その団体が抱える問題毎に方法を検討していく必要がある。
- ・強制的なもの以外は参加が難しい。
- ・イベントなど、市民が集まる場で市長の考えを伝えて欲しい。
- ・市民が安心安全で生活できることが大切。
- ・若い人や元気な年寄りに参加してほしい。
- ・情報のとらえ方に差が生じているので、デジタル化に疎い高齢者の対策をしてほしい。
- ・市外の方が住みたくなり、市民が住み続けたいと思うような、市民の幸せと生活を基本にした藤枝市であって欲しい。
- ・高齢化と少子化が進み、担い手不足ではあるが、協力したいと思っている人はいる。
- ・もっと情報を受けやすい方法があると良い。
- ・市民活動を発展させるため、団体や学生団体に補助金を交付したり、他市に比べ市民活動団体に対しての支援が充実していると感じる。市民団体が活動の場を広げられるよう、他団体や自治会との橋渡しが行政で出来れば協働が進むと思う。
- ・活動の必要性をもっとアピールするべき。
- ・若者が魅力的に思うような街づくりを期待したい。
- ・年配の方々が多くの行事に参加しているが、若い世代には参加しづらいように感じる。若い世代がより多くの情報を得られるようになるといい。
- ・もっと活動の発信をした方がいい。
- ・行政への意見を伝える窓口を増やしてほしい。
- ・知ろうと思って行動しない限り、情報を得られない現状は問題。
- ・スーパーなど誰もがいつでも訪れるような場所に意見箱を設置してほしい。
- ・Web での参加もできるようにしてほしい。
- ・自治会の活動について知れる機会があるといい。市の取り組みについて、わかりやすい情報提供を積極的にして欲しい。
- ・回覧板だけではなく、SNS やチラシなどで積極的に活動や参加を促す必要がある。
- ・世代交代のために若者たちの意見を尊重する姿勢が必要だ。
- ・活動内容を知らない団体が多いので、駅や街中で広報をして欲しい。
- ・将来の活動のため、市民活動の安全性を見直すべき。
- ・委員会などで発言しても市民に伝わらないことがあるので、情報発信のスキルを各々が磨いていくべき。
- ・藤枝市は広いので、ボランティア募集を細分化してほしい。市民が自分の居住地域や職場の近くで参加できる活動を見つけやすくしてほしい。

## 現状と課題

### （１）市民意識（市民アンケートより）

市民アンケートから、市民の地域活動への参加意欲や市政への関心の高さが伺えます。既に47%の市民が何らかの市民活動に参加しており、自治会・町内会や子ども会・PTAなど、地域社会を支える活動が活発に行われています。また、79%の市民が市政への参加の必要性を感じており、協働のまちづくりへの意識の高まりも見取れます。

まち美化里親制度のように、既に市民に浸透し成果を上げている取り組みも存在します。今後、情報発信の強化や多様なニーズへの対応によって、更なる市民参加の促進と、より活気ある地域社会の実現が期待されます。